



Governor slogan

No try No change! Wa(和)

Keyword

We Serve

2018~2019  
DIST.336-A

The International Association  
Of Lions Clubs

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 地区誌

四國

No.2 10.11.12

第104号

平成30年12月15日発行

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区

# 第65回 地区年次大会 《西条大会》

大会スローガン

「おいでんよお、水の都西条へ、和みの心でウイ・サーブ」

「～小さな街のお接待～」

ガバナーズスローガン

「No try No change!」

キーワード

「Wa(和)」

◆2019年 4月7日(日)◆

## ■ 指名選挙会

登録/7:30~8:45 投票/7:35~8:50

## ■ 代議員分科会

登録/8:30~9:00 分科会/9:00~9:40

- 第1分科会 GMT・GLT・FWT・会則委員会
- 第2分科会 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会
- 第3分科会 青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員会
- 第4分科会 環境保全・保健福祉・アラート委員会
- 第5分科会 YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会
- 第6分科会 IT推進チーム

## ■ 代議員総会 (大ホール) 9:55~10:45

## ■ 大会式典 (大ホール) 11:00~12:45

## ■ ガバナー懇親会 13:00~15:00

## ■ アトラクション レーモンド松屋 心響会



◆2019年 4月6日(土)◆

## ■ 記念ゴルフ

場所/今治カントリー倶楽部  
道後ゴルフ倶楽部  
松山シーサイドカントリークラブ

## ■ 地区年次大会前夜祭 【日韓親善国際交流の夕べ】

登録/18:00~18:30

交流会/18:30~20:30



YOURS(ユアーズ)

## ライオンズクラブ国際協会336-A 地区 第65回 地区年次大会事務局

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8 西条商工会議所 3F  
TEL:0897-53-8323 FAX:0897-56-9251  
E-mail:nenji-65@lci336a.org



ガバナーズスローガン

No try No change!

キーワード

Wa(和)

We Serve

ライオンズクラブ国際協会336-A 地区

2018-2019年度 道前キャビネット事務局

愛媛県西条市三津屋南10-20 通所介護センターまほろば 3F

TEL:0898-52-8920 FAX:0898-52-8921

E-mail dozen@lci336a.org

2018.第104号

発行日 平成30年12月15日

発行所 336-A地区 道前キャビネット事務局

発行人 関野邦夫

編集 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会

印刷 第一印刷株式会社

# 地区ガバナー所感 平成30年7月豪雨

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区  
地区ガバナー 関野 邦夫

去る7月5日木曜日、ラスベガスからの私の帰国を待ちうけていたのは、のちに「平成30年7月豪雨」と呼ばれることになる未曾有の大雨でした。道前キャビネット事務局の周辺に大きな災害はありませんでしたが、ご存知のように物凄い雨量で、翌金曜日には、土曜に予定されていた第1回名誉顧問会議、追って日曜の第1回キャビネット会議も中止し、両会議を翌週に延期せざるを得ませんでした。加えて、その日曜日には対策本部を立ち上げ、情報収集に努め、対策を練ることになりました。

7月11日には佐藤キャビネット幹事が自院に備蓄している非常用の水・食料やポリタンクなど緊急災害用物資を野村LC大塚会長などに届けています。以後、私も何度か被災地を訪れることになり、現地のニーズを拾い、追って随時対応していきました。当初は飲料水や食料、次いで生活用水、作業用マスク・タオル・掃除用品など、現地の要望に応じて届けさせて頂きました。その一方で義援金口座開設に奔走、9月末現在で40に及ぶクラブ及び団体より総額約500万円のご厚志を賜りました。7月16日に延期された第1回キャビネット会議に先立ち開催した第1回地区緊急援助引当金委員会では、この災害のため500万円の枠を頂きました。のちに336複合地区緊急援助資金からもA・B・C地区に対して各100万円、D地区に50万円が支援されており、これらを原資として支援活動を継続してきました。

生活用水や牛の飲用水のために、野村に1.2トン・1.5トン・2トンのタンクを各2個、宇和島三間地区及び吉田地区に2トンを各2個、計10個設置させていただきました。10トンタンクローリーで何度も給水に向かいました。また、1Rが松山市27台・西予市10台・宇和島市10台と贈呈した高圧洗浄機には、柔軟に資金援助させて頂きました。9月26日には野村LCから西予市への「エアベッド贈呈式」に参席、これも主に地

区から費用を捻出しましたので、管市長に代表して目録をお渡ししています。このように、各方面のご協力により、緊急回避的かつ迅速な動きが出来たことには自画自賛していますが、バタバタと走り回った感が強く、継続的なアラート会議の必要性を強く感じている次第です。また、前述のように、今回LCIF緊急援助交付金を使わせて頂いたものの、申請や報告などに制約が多く、使いづらいうことを実感いたしました。9月29日にはLCIFクラブコーディネーター研修会を開催いたしました。今後、地域復興交付金や一般援助交付金も視野に入れると、LCIFを使いこなせるより深い知識が必要になってくると思います。

さて、この豪雨災害を受け、一般社団法人日本ライオンズは8月20日の社員総会において「平成30年7月豪雨に被災し、罹災証明(写)を提出した場合、日本ライオンズ費及び2020年東京オリンピック・パラリンピック支援金を免除する」と決議しました。それに先立ち、336複合地区第1回ガバナー協議会が8月11日に開催されましたが、その席で協議したのち、4ガバナーで連絡を取り合い、同じく「平成30年7月豪雨に被災し、罹災証明(写)を提出した場合、複合地区費・複合地区大会費・第58回OSEALフォーラム(広島)協力金・渡部雅文国際理事候補者支援金を免除する」と決めています。当準地区においても11月4日開催の第2回地区キャビネット会議においてやはり、罹災証明(写)を根拠に被災されたメンバーより今期の地区費・地区大会費および国際会費を頂かないこととする決議を致しております。336・A地区での罹災証明書提出者は本稿執筆時点で58名、いずれの免除も日本ライオンズからの後期請求で対応させて頂く方針です。

ところで、7月28日土曜日の1Rを皮切りに、リジョン単位で巡ったガバナー公式訪問でしたが、翌29日日曜日に予定された3Rは、西日本を東から西へと縦断する異例のコースを辿った台風12号によって延期を余儀なくされました。その延期日の9月30日土曜日、これまた大型の台風24号に見舞われ、前々日には再延期が決まり、最終的に10月6日になったのですが、これまた台風25号に悩まされました。災害による予定変更といえば、9月4日大阪はリーガロイヤルホテル大阪で開催された2018・2019年度国際会長公式訪問では交通事情でトタキャン、グドラン国際会長にお会いすることができませんでした。

なんとも悩ましい日々が続きましたが、ガバナー公式訪問を無事終了出来て安堵しているところです。瞬く間に、はや3ヶ月。気持ちを引き締め、瘦せる思いで頑張ります。

## Contents

- 1 地区ガバナー所感
- 3 地区ガバナー公式訪問
- 12 災害ボランティア関連
- 16 YCE サマーキャンプ
- 23 ライオンズクエストワークショップ開催
- 25 周年行事記念式典
- 28 会員増強について
- 30 第31回 国際平和ポスターコンテスト
- 31 林芙美子 常設展示場
- 33 LCIF 研修会

表紙写真：石鎚山天狗岳  
題 字：関野 邦夫





# 地区ガバナー公式訪問

Lions Clubs International  
**1** Region  
 日時 7月28日(土) 午後1時30分より  
 会場 リジエール松山

1R・MCCライオンズ情報・地区誌・  
 大会参加委員  
**新開 千富美**

## 1リジョンガバナー公式訪問開催される

7月の西日本豪雨災害により、被災されました皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

平成30年7月28日(土) 336・A地区のトップをきつて、関野邦夫ガバナー以下11名のキャビネット役員のご出席のもと、リジエール松山にて、19クラブ105名参加で、ガバナー公式訪問が開催されました。

ガバナーご入場の後、愛媛県内で甚大な豪雨災害に見舞われ多くの命を亡くされた方々に黙祷を捧げ、開会ゴングとなりました。

関野ガバナーのご挨拶では、就任後の初仕事、豪雨災害被災地への支援活動とのことでした。

LCIF・地区緊急援助金等の重大さを、今回は理解できたように思います。

ライオンズ101年目、初の女性、グドラン国際会長が就任され、関野ガバナーは、国際会長の意思に沿ったガバナースローガン「No try No change」を掲げられ、四国はひとつ、「プロジェクトS」を立ち上げ、へんろ道清掃をキャビネットアクティビティーとし

て発表されました。

ガバナーよりクラブ会長に一人づつバナーが贈られ、決意も新たにされたあと、諮問事項に移ると、会長たちの緊張と興奮が頂点に達しました。さらにと並んだ19基のクラブ旗に囲まれた中、ライオンズクラブ最重要事項会員増強については、どのクラブも、ガバナーの熱い想いが伝わったかのように、増強目標が発表され盛り上がりました。FWTコーダイネーターからも、女性会員・家族会員のより一層の増強を呼び掛けていました。

キャビネットより、LCIF100ドル献金、地区年次大会への参加など、要望も報告され、会員の協力が重要な課題です。

1Rリジョンフェアパーソンより、このたびの豪雨災害復興活動に使用する、高速洗浄機50台を1R管内3市2町の消防団に、1Rより寄贈したとの報告も行われました。折しもこの日は、台風21号の接近で翌日に予定された3R公式訪問が中止となりました。本日に一日も早い復興をお祈りいたします。

Lions Clubs International  
**2** Region  
 日時 9月9日(日) 午後2時より  
 会場 今治国際ホテル

2R・MCCライオンズ情報・地区誌・  
 大会参加委員  
**鈴木 恵眞**

## 四国の西郷どんは大忙し…

9月9日恒例の地区ガバナー公式訪問が今治国際ホテル クリスタルホールに於いて盛大に開催されました。会場には、2R17クラブのクラブ旗が整然と並び、道前キャビネットの皆様、2R地区役員・委員、各クラブの5役、総勢約140名が緊張の面持ちで、関野邦夫ガバナーが入場されるのを今や遅しと待ち受けていました。

やがて定刻となり羽田野修司2R・RCの先導で、川辺信郎前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長と共に関野邦夫地区ガバナーが入場され、会場の140名全員が立ち上がり大きな拍手でお迎えしたのです。その時のことですが、何か変な感じ、違和感を感じました。

今年の5月、岡山で開かれた第64回複合地区年次大会では、式典会場を白い上着に黒ズボンの出で立ちでスポットライトに浮かんだ関野ガバナー颯爽と歩く姿が、カッコイイ(337九州地区ならもっと受けただろうに…) 複合地区4人の中でも一番だと思っただけですが…

今日のガバナーは違う、元気がない? それもその筈、第101回ラスベガス国際

大会においてガバナーを拝命されて日本に到着早々の7月上旬、豪雨により西日本各地は甚大な被害を受けていました。県内においても宇和島市、大洲市、西予市等、東中予の島嶼部や徳島県境の山間部等、広範囲にわたり大きな被害を被りました。関野ガバナーは、被災された地域の方々に心よりの緊急援助の陣頭指揮をしながら、通常通りのガバナーの役目を果たすために四国内を飛び回っておられた事、皆さまご存知のとおりです。

慌ただしく始まった今期、12月といえばあと半分まだまだやりたい事がたくさんある筈、会員増強と奉仕活動 Projects もその一つ、この事業の実現と成功の為に「和」の心を持って団結し、思いを一つにして頑張ります。

最後になりましたが、この度の豪雨で被災されました地域の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を願っております。



(西郷どん)ガバナー入場



ソングリーダー 安藤3ZC



バナーを贈られて



ガバナー挨拶



また会う日まで



皆で輪となって



クラブ旗の前で決意



ガバナーとがっちり握手

Lions Clubs International  
**3**  
 Region  
 日時 10月6日(土) 午後1時30分より  
 会場 伊方町生涯学習センター  
 3R・M・C・ライオンズ情報・地区誌・  
**正司弘**

### 見つめ直す意気込み

7月の「西日本豪雨」は、愛媛県、岡山県、広島県に大きな爪痕を残し、地域住民の方々は今なお避難生活を強いられています。しかし、浸水した家屋の復旧、地域のコミュニティづくり、精神的な心のケアの他、南予のみかん農家は豪雨被災の中で収穫作業を行い、丹精込めたみかんへの想いと自然の脅威に立ち向かう強い心意気を感じ取れます。

このような中、3Rで計画した地区ガバナー公式訪問が台風接近により二度に渡り延期となりました。関野邦夫地区ガバナー、道前キャビネット役員の皆様には、御多用の中訪問いただき誠に有難く、末光勝幸3R・RCを始め3R役員並びに会員共々で歓迎することができました。

まず、末光勝幸3R・RCから、7月に就任された関野邦夫地区ガバナーに、特に1Zの豪雨災害に再三に渡り救済物資や被災地の訪問など多大の御迷惑をおかけし、深く感謝しておりますと挨拶されました。そして、ガバナーの目指される「No try, No change」のスローガンに対して、今後の指導方針を本日は伺い御指導をいただきたいと述べられました。その後、西園寺純一地区名譽

顧問の激励のことばでは、関野邦夫地区ガバナーのスローガンは「何かを変えて行こうとする意気込みと熱意」が、汲み取れると称賛の言葉を送られました。

次に、関野邦夫地区ガバナーの挨拶では、就任後ラスベガスで5日間のガバナー研修が開催され、各国ガバナーの活動内容を伺うことができました。この他、ライオンからの退会を防ぐ、アクティビティの中で女性会員を育てる、犯罪を防ぐことや子ども達を育てることなど世界の状況を知ることでもできました。これからは、新体制で今回の豪雨災害の状況を確認しながら、復興支援に取り組んでいきたいと強調されました。とにかく、新しいことは毎年挑戦してほしいということ、で、「No try, No change」のスローガンを掲げ、これからは切磋琢磨して活動を進めたいと結ばれました。最後に、公式訪問記念品の贈呈と要望事項、質疑応答に対しキャビネットから回答があり、休憩後、各クラブが今年度の目標と抱負を発表し、盛大の内に地区ガバナー公式訪問を閉会いたしました。

Lions Clubs International  
**4**  
 Region  
 日時 8月25日(土) 午前11時40分より  
 会場 三本松ロイヤルホテル  
 4R・M・C・ライオンズ情報・地区誌・  
**橋元高宣**

### 挑戦なくして成功なし！

去る8月25日、336-A地区4R地区ガバナー公式訪問が三本松ロイヤルホテル「卓の間」に於いて開催されました。公式訪問当日は、関野邦夫地区ガバナーをはじめ、キャビネット役員を参加者全員の盛大な拍手で迎え、ご入場いただきました。

田中貞夫4R・RCの歓迎の挨拶、石川俊夫地区名譽顧問の地区ガバナー激励の言葉をご頂戴し、その後、関野都夫ガバナーのご挨拶となりました。

関野ガバナーのスローガンは、「Not try, No change!」、キーワードに「wa(和)」を掲げ、努力の意を含み、試みが成功する可能性を示すもので、変化、移り変わり、変遷、改心、変節、変更、改変という志です。「個々の積極的な行動が、変革をもたらし、素晴らしい未来を切り開き、それぞれのライオンズクラブが活性化することを願ったものであり、キャビネットの最大の仕事は、地区のライオンズクラブメンバーを元気にすることが使命と思い、活動していただきたい。」と熱く抱負を語られました。

また、「ライオンズ必携のクラブ会則の改正、クラブ組織はモデルクラブ組織図のよう

に変わっていかねばなりませんし、複合地区も準地区も変革に対応する必要があります。2018〜2019年はその舵取りの1年だと認識し、積極的に取り組んで参りたいので、ご協力宜しくお願いいたします。」と付け加えられました。

そして、「変革を求めているチャレンジには、反発も予想されますが、友愛の精神を発揮し、「和」の心を持って話し合えば未来は必ず拓けると信じています。「挑戦なくして成功なし!」地区発展活性化のために皆様方の積極的な意見や行動を期待します。我々は、奉仕するをモットーに掲げ、四国の地から変革し、世界に発信をしていきたいことを目標として頑張ります。」と力強く述べられました。

その後、関野ガバナーより公式訪問の記念品バナーが各クラブ会長に贈呈され、休憩後、関野ガバナーからの要望事項並びに質疑応答、続いて地区コーディネーター及び各委員からの要望事項があり、最後に各クラブ会長が抱負と目標を述べ、公式訪問を終えました。



関野ガバナー挨拶



熱く語るガバナー



バナーを手渡すガバナー



がっちり握手



参加者の皆さん



ガバナー挨拶



女性会員の挨拶



3R・RCの挨拶



ガバナーと握手



参加されたL会員の方々

Lions Clubs International  
**5**  
Region

日時 8月5日(日) 午後12時30分より  
会場 オークラホテル丸亀

5R・M.C.ライオンズ情報・地区誌  
大会参加委員  
**藤田 裕憲**

### 暑かった、熱かった、ガバナー公式訪問

猛暑の8月5日(日)5Rガバナー公式訪問が参加者総勢90名のもと、関野邦夫ガバナーを迎え、オークラホテル丸亀で開催されました。

まず植田誠一5R・R.Cの西日本豪雨災害で被災された方やクラブ会員へのお見舞いの言葉、義援金のお願ひ、ガバナーへの歓迎の言葉が始まりました。

関野ガバナーの挨拶では、豪雨災害被災地への飲料水等の提供の報告、今年度のガバナースローガン「No try No change!」のもと、皆様それぞれの立場でtryしてください、ガバナーとして、しっかり支援して行きます。改革には反発も予想されます、改革を進めるためには、友愛の精神を発揮するすなわち、キーワード「和」が大切であると思います。と熱い想いが語られました。また本年は「四国はひとつ」という事を具体的な奉仕活動で実現するため、四国遍路道の清掃を336・A地区の全地区で行い、地域の皆さんに奉仕団体としてのライオンズをアピールし、社会的認知を高めたい、とお願いの言葉がありました。

休憩をはさんで、各地区コーディネーター、

地区委員からの要望事項の伝達、13クラブ会長の今期の方針、スローガンの発表があり、課題の会員増強については、各クラブより具体的な数値目標が示されました。

その後の質疑でも、YCE事業、国際ルール、プロジェクトS、MY Lion等について、佐藤キャビネット幹事らと白熱した議論が行われました。

国際大会への参加、被災地での援助活動等、ハードスケジュールの中、疲れた様子もなく、ますます精悍で、エネルギー溢る関野ガバナー、懇親会で参加者一人、一人と固い握手をされ全員が「四国はひとつ」の思いを感じた一日でした。

Lions Clubs International  
**6**  
Region

日時 8月18日(土) 午後1時より  
会場 三翠園

6R・M.C.ライオンズ情報・地区誌  
大会参加委員  
**竹島 譲**

### 挑戦なくして成功なし!

6Rの地区ガバナー公式訪問は残暑厳しい8月18日(土)に開催されました。

関野邦夫ガバナー、友澤節男第一副地区ガバナー、酒井公二第二副地区ガバナー、真鍋隆元地区ガバナー、橋本充好元地区ガバナー、三谷智省元地区ガバナー、佐藤公平キャビネット幹事、花山志郎キャビネット会計、村井淳子F.W.Tコーディネーター、6Rからは山崎勝彦R.Cをはじめ3Zの各ZC、各地区役員、各クラブの会長、クラブ役員総勢69名が参加して三翠園にて開催されました。まず関野邦夫ガバナー、友澤節男第一副地区ガバナー、酒井公二第二副地区ガバナーの順で盛大な拍手の中、堂々と入場され、各クラブ旗のならぶ壇上に着席されました。山崎R.Cの開会宣言の後、司会者から出席者の紹介がおこなわれ、再度山崎R.Cより歓迎の挨拶がなされた。橋本充好元地区ガバナー、三谷智省元地区ガバナーからは、ユーモアの混じった愛情のこもった激励の言葉が話されました。

関野ガバナーの挨拶が始まり、まず冒頭7月に起こった愛媛県の豪雨水害に対してのお見舞いと、道前キャビネットの水害への対応、今年のキャビネットの方針が話されました。「道前キャビネットはいち早く避難民の飲料水の確保のために、タンクローリーを手配して、必要な被災地に配達しています。(8月18日現在も継続中)」

日本はまだまだこれからも地球温暖化による過去に経験したことのない激甚災害が発生すると思われる。そ

のためにもLCIFのより多くの資金の確保が喫緊の課題であると確信します。

今年度の私のスローガンは「No try No change!」です。個々のメンバーの積極的な行動が、変革をもたらし、クラブが活性化すると確信しています。何か新しいことをやってみましょう。そのためにはメンバーの気持ちをひとつにして「和」の精神で行動を起こしてください。インガバドター国際会長はアイスランドという小さな国の女性の方です。人口も38万ぐらいで四国の十分の一で、また人口の1000人に7人がライオンという対人口比のライオンズの割合が世界で最も高い国だそうです。四国のメンバー数は何人ですか。皆さんのやる気でメンバーを増やしていきましょう。

ことしの道前キャビネットのメイン事業は環境美化にこだわり、家族、市民を巻き込んだ遍路道の美化運動を進めたい。ご協力をお願いします。

その後、記念品の贈呈、休憩を挟んで要望事項並びに質疑応答がなされ、問題にあがったのがレオクラブに対する補助金で、国際協会は他の国でお金に纏わる問題が発生し、レオクラブには基本的に拠出しないと、全世界に発したが、道前キャビネットは各クラブから申し込みがあればキャビネットで審査した後、拠出するとの返事でした。その後各クラブの会長から今年度の目標と抱負が語られた後、閉会となりました。



ガバナー挨拶



開会宣言



2018/08/05  
関野ガバナー挨拶



Weiserve



全員で記念写真



いよいよ開会です



ライオンズクラブの唄



2018/08/05  
元地区ガバナー 地区名誉顧問 山地章靖挨拶

7 Region

日時 8月19日(日) 午後1時30分より  
会場 高知プリンスホテル

7R・M.C.ライオンズ情報・地区誌  
大会参加委員  
松尾眞理子

### 変革の7Rに ガバナーの心強い訪問

記録的な猛暑に続き、豪雨が西日本に甚大な被害を与えた中で、スタートをきった道前キャビネットによる7Rのガバナー公式訪問が開催されました。午前中に会員会則委員会と第1回ガバナー諮問委員会があり、両会共に熱心な討議と意見交換がなされ、7Rの15クラブ会長と役員との集中力と課題決議を果たし、昼食をはさんでガバナー公式訪問となりました。

キャビネットより 関野邦夫ガバナー、友澤節男第一、酒井公二第二副地区ガバナー、長谷川憲男、三谷智省様元地区ガバナー・地区名誉顧問のお二人、真鍋隆、橋本充好、村井淳子様各コーディネーター、佐藤公平キャビネット幹事、花山志郎キャビネット会計、徳増達史地区年次大会委員長、松本清G.M.T・G.L.T・F.W.T・会則委員長、7Rから池本耕三RCはじめ3ZC、地区委員、15クラブ役員総勢92名で行われました。会場正面の国旗に向かって左に国際会長スローガン「We Serve」、右にガバナースローガン「No try No change!」「和」が掲げられ、定刻になり、池本RCの先導によりガバナー以下キャビネット10名の堂々たる入場が始まり、参加者全員起立して盛大な拍手でお迎えしました。元地区ガバナーお二人の激励の言葉に続き、関野ガバナーのラスベガスでの感動の就任行事と国際協会初の女性会長誕生の話にライオンズの次

の百年への輝かしい未来が心に響くご挨拶でした。続いて会員増強について退会を防ぎ純増1名の無理のない仲間作りを提案していただきました。

地区アクティビティは環境事業推進として四国の大きな宝である88ヶ所遍路道の合同清掃を3月頃実施の提案を受け、世界遺産認定を目指す「八十八ヶ所お遍路」の少しでも力となれば四国全体の喜びとなりライオンズの奉仕力を世界にM.C出来る活気的なプログラムと期待しています。ガバナーからの記念品贈呈やキャビネット、各コーディネーター、地区年次大会委員長からの要望が続き、休憩後、15クラブ会長の目標と抱負が力強く述べられました。

7Rとして前期よりの課題「ゾーン再編成」は午前中の諮問委員会全体会において最終評議で全員賛成で成立し、3ゾーン各5クラブ、会員数のバランス良く、新しい友好的な交流を目指します。時間をかけて役員(RC・3ZC)の選出、6地区委員の選定を各クラブへのスムーズな依頼などルール作りをしていく事が、池本RCのもと、提案され推進していく発表があり、無事終了する事ができました。

関野ガバナーのキーワード「和」のもとに一つとなった7Rの公式訪問となりました。今期で最後の各ゾーンごとの記念写真の後、元気な15名の女性会員と共に盛り上がった懇親会となりました。

8 Region

日時 9月1日(土) 午後1時より  
会場 阿波観光ホテル

8R・M.C.ライオンズ情報・地区誌  
大会参加委員  
豊永寛二

### 関野ガバナーの音容に接して

雨が降りそうなものの、少し暑さが遠のいた土曜日の午後、恒例のガバナー公式訪問が開催された。司会はホストクラブの徳島吉野川LC中野賢治幹事が務め、川辺信郎前地区ガバナーや木内千春元ガバナー、8RC、1ZC、2ZC、地区委員、8Rの14LC役員ら総勢73名が、大きな拍手でお迎えする中を、関野邦夫地区ガバナーをはじめとする道前キャビネット役員11名の皆様が入場されました。大井倫夫8RCの開会宣言・開会コングで開始され、国旗敬礼・国家斉唱、ライオンズクラブの歌斉唱、地区ガバナーほかキャビネット役員、地区役員、地区委員、クラブ出席者の紹介と続きました。地区役員紹介中にライオンズ旗の一部が倒れるアクシデントがあったものの粛々と進められ、大井RCの歓迎の挨拶、川辺前地区ガバナー、木内元地区ガバナーの激励の言葉のあと、関野ガバナーは、以下のとおり、述べられました。

も水が必要としていたところ、大変喜ばれた。また今治タオルも持参し、私自身も現地に4回は入った。現地でライオンズクラブメンバーが先頭になって頑張っておられた。今もボランティアを続けている。

ところで本日でガバナー公式訪問は全体の3分の2を終了し、3Rが終了すればすべて終了する。

グドラン国際会長はライオンズの102年目の女性会長である。これから女性のもっている感性・行動力などが重要であるともいわれたが、私もそう思う。36・A地区の女性会員の比率は約23%であるが28%に持っていきたい。各クラブ会員1名増強と女性会員の増強で活性化を図りたい。またやめる人も止めることも重要である。

まず、6月末のラスベガスでの国際大会において無事引き継ぎを終えた後、

7月5日 淡路島経由で帰ってくる愛媛県南部で甚大な被害が発生しているとの報告があり、さっそく佐藤公平キャビネット幹事に現地入りしてもらった。佐藤幹事が、地元の要望を聞き、飲み水以外の生活用水が1番必要であるとのこと2000ℓタンクを、合計20個手配して現地に何十回も行ってもらった。牛

私は、四国はひとつであり、石鎚山を頂点としてぐるっと四国が回っている。四国の環境整備をしてゆくことを目標として、来年3月10日の一つの目安の日として、四国遍路道の清掃を共同でやってもらい、ライオンズの活動を地域の人にみせて、子供たちが入ってもらえるようなものにした。

その後、ガバナーより公式訪問の記念品が各クラブの会長に贈与され、最後に各会長が今年度の目標と抱負を述べ閉会しました。

関野ガバナーに直接接することができ、ライオンズの一員であることを誇りに思いました。



いただいたバナーを持って



関野ガバナー挨拶



石鎚山イメージのバナーを手渡す



関野ガバナー挨拶



ガバナーから記念品贈呈



参加者の皆様



熱心に意見交換



真剣に耳をかたむける皆さん

Lions Clubs International  
9 Region  
日時 9月2日(日) 午後12時30分より  
会場 徳島阿波観光ホテル  
9R・M・C・ライオンズ情報・地区誌  
大会参加委員  
山島まゆみ

# ガバナーのキーワード「Wa(和)」は超いいね!

残暑厳しい9月2日、徳島阿波観光ホテルで9Rのガバナー公式訪問が盛大に開催されました。三木RCに先導され、関野邦夫ガバナーを先頭に前地区ガバナー・第一副地区ガバナー・第二副地区ガバナー・元地区ガバナー・キャビネット役員の皆様が次々と入場され、参加者全員の歓迎の拍手が会場を包み込みました。

関野ガバナーは6月29日から開催された、ラスベガス国際大会について、ご自分と奥様のカジノ体験を交えた楽しい話をしてくれました。今期のグドラン国際会長はアイスランドの方でライオンズクラブ初めての女性の国際会長だそうです。アイスランドは小国で有りながら女性の社会進出が非常に活発で世界一、男女平等な国として知られています。(ちなみに日本は101位) 関野ガバナーもライオンズクラブの活性化には女性の活躍が必要だと考え、会員増強は勿論、特に女性会員増強に力を注ぐとお話がありました。

そして、それは今期のガバナースローガンである「No try No change」(積極的な行動が変革をもたらし、未来を切り開き、活性化を図る!)の目標の一つであることが分かり、女性会員の貢献の場を今以上に作って頂けると期待しています。

また、奉仕事業では336-Aが協力して、四国の遍路道の一斉清掃を行いたいとのことで、四国全部のライオンズクラブがこの事業を行うことで、社会から注目を浴びて世界遺産登録への足がかりになるかもしれません。ロードアプト事業は地域からの理解も得られやすく、ガバナーが掲げているキーワード「Wa(和)」が必要な事業だと感じました。

今年、日本は様々な災害に見舞われています。四国でも7月上旬に発生した西日本豪雨災害で多くの人や物が犠牲になりました。特に2R・3R地域では甚大な被害が出たとお聞きしています。こんな時だからこそ、「Wa(和)」の心を持つてお互いが助け合うことが大事だと思います。このキーワードには、今の私たちに必要な奉仕の心・慈悲の心・感謝の心、そして、関野ガバナーの様々な思いが詰まっていると感じました。このキーワードをもってすれば、今、ライオンズクラブが直面している数々の問題も乗り越えていけるのではないのでしょうか。

最後に地区コーディネーター及び各委員からの要望、そして各クラブ会長が今期の目標と抱負を述べて公式訪問は終了しました。



335複合地区 ライオンズクラブ&レオクラブ 被災地支援に来ていただきました

## 豪雨災害被災地支援

環境保全・保健福祉・アラート委員長  
篠原 悟

今期は始まりから平成30年7月西日本豪雨災害に見舞われ、地区キャビネットとして手探りで右往左往な状態ながら、関野地区ガバナーのもと地区キャビネット・地区役員一丸となって真摯に豪雨災害被災地支援に取り組んで参りました。

### 1. 豪雨災害状況

7月7日早朝、愛媛県西予市野村町で、豪雨により肱川が氾濫し、逃げ遅れた5人が死亡した。大洲市でも肱川が氾濫し、約4600世帯の家屋浸水となった。宇和島市吉田町では、多数の土砂崩れが発生し11人が死亡し、さらに、給水施設が破壊され、住民の生活用水の確保が出来なくなった。松山市の怒和島では、住宅の裏山が崩れて1棟が倒壊し、3人が死亡した。

ここから、豪雨災害で被災された3リジョンの愛媛県宇和島市の伊予吉田ライオンズクラブが8月に発行された会報誌から『ライオンズのひとりごと』を転載致します。

7月7日の集中豪雨で1mを超え



関野ガバナーを囲んで!



“We serve” みんな笑顔で



今期のガバナーは石鎚山



ガバナーからの報告



参加者の皆様

る床上浸水した。午前6時半頃から1時間足らずのアツという間の出来事。外は道路が首の高さ位まで水が溢れて川になっており、出ることができない。どうすることもできずに2階に逃げるしかなかった。

1階の部屋は畳、テレビ台、本棚、サイドボードなどが泥水の中に浮かんで浮かんている。9時過ぎから雨が降りになり水が引き始め、12時頃には床面が見えるようになった。部屋の中はめちゃくちゃ。冷蔵庫は横倒しして使えなくなりました。洗濯機、IH調理器、台所の流しシンクは泥まみれ、エアコンの室外機、エコキュートの室外機は泥水をかぶり動かない。車も室内一杯に水が入り使えない。水は本当に恐ろしい。この惨状はどうすることもできなかつた。

電気、水道が止まった。電化生活の弱点を思い知った。水で困ったのは飲み水よりトイレの水であった。トイレがこんなに水を使うとは思わなかった。水道が止まっている間の掃除やトイレの水の確保に苦労した。水の恐ろしさと同時に水の大切さを学んだ。これからどうしようか、どれから片付けようか絶望的になった。それでも片付け掃除を始めないと生活できない。家族で少しずつできるところからやることにした。困ったのは冷蔵庫、ピアノ、畳などの大物である。それを解決してもらったのは、宇和島南中等教育学校の女子生徒さん、宇和島東野球部の皆さん、宇和島水産高の皆さんそして松山から来て頂いたボランティアの皆さんたちである。本当にボランティアの人たちには感謝しても仕切れないほどありがたかった。

豪雨災害から40日余り、片付けや掃除もでき、畳の入れ替えや床の張り替え等の大工仕事を持つばかりで少しは落ち着いて生活ができるようになった。水の怖さ、水の大切さ、ボランティアのありがたさを知った豪雨災害であった。

以上、原文のまま。

## 2. 緊急被災地支援

7月11日、地区キャビネットの豪雨災害被災地の調査及び緊急支援活動として、飲料水、食料品等の支援物資を各地で道路が寸断されている中、被災地になんとか無事に届けました。豪雨災害初期で支援物資が不足しており、微力ながら生命の危機に直面した被災者支援に貢献できたと思っております。

## 3. 被災地支援

7月18日から地区キャビネットへの被災地からの支援要請が生活用水の確保と次の段階へと推移しましたが、ライオンズクラブならではの機動力を発揮し、迅速に生活用水タンクを四国外から搬送し、被災地の人々の日常生活安定に大きな影響を及ぼしました。また、ライオンズクラブの豪雨災害被災地支援活動である事を明示したステッカーを車両や被災地支援物資に貼ったり、自治体施設前に生活用水タンクを設置することにより、被災地の人々へのライオンズクラブの被災地支援活動である事のPRに務めました。これは、ライオンズクラブへの周知と理解を深める上

で非常に有効だったと思います。

地区キャビネットの被災地支援の初期として飲料水・食料品・生活用水・高圧洗浄機及び各ライオンズクラブから寄贈されたタオル等の支援物資を被災地に直接お届けさせて戴きました。また、全国各地のライオンズクラブから物的支援及び寄付金を速やかに援助して戴きました。これも、諸先輩方が築き上げてきた信頼と歴史があればこそと心より感謝致しております。この支援の輪はこれからも受け継がなければと改めて思っております。

## 4. レオメンバー被災地派遣

8月25日から26日、335複合地区からレオメンバーの被災地派遣の受け入れがありました。レオメンバー及び関係ライオンズクラブから約60名が参加で、宇和島市吉田町、西予市野村町で復旧作業に従事して戴きました。今回の豪雨災害は災害大国の日本に住む若者たちにとりましても他人事ではなく、「被災地での活動を通じて未来に備える基盤にしたい」との335複合地区レオクラブからの強い申し出があり、実現に至ったと伺っております。地区キャビネットもこれを青少年育成の重要な活動と位

置づけ全面的に支援致しました。参加者にとって猛暑の中での過酷な活動となりましたが、その趣旨を理解して熱心に活動して戴き、心よりお礼申し上げます。

## 5. 被災地支援の総括

L C I F の緊急援助交付金一万ドルから飲料水・食料品等の緊急支援物資、地区緊急引当金から、生活用水用タンクの設置及び給水、そして1リジョンが企画した高圧洗浄機贈呈費用を援助しました。また、9月26日には複合地区緊急援助資金を活用して野村ライオンズクラブが愛媛県西予市に冬期に厳しい寒さが予想される仮設住宅の入居者用にエアーマット150個を贈呈しました。また、豪雨災害で被災された3リジョンの各ライオンズクラブには地区費・地区大会費免除と国際会費の立替払い及び地区緊急支援金徴収免除などの措置が計画されております。

今回、豪雨災害被災地支援として、L C I F の交付金の申請を行いました。L C I F の規定では被災地へ支援は金銭支援でなく物品支援が優先されるため、交付金の承認が厳格であり、申請手続きで試行錯誤しました。この事から、申請前にL C I F



西予市野村町災害ボランティアセンター



宇和島市吉田支所に搬入



キャビネット駐車場で



近藤事務局長



汗たぐって酷暑の中、活動



西予市に給水タンク設置



お茶



タオル



水



世界中のさまざまな文化にまたがるグローバル市民の育成

# YCE Summer Camp

2018年7月23日～26日 in 愛媛

2018-2019 ライオンズクラブ国際協会 336-A地区

家族の一員として外国の家庭に一定の期間滞在し、その間に自国の文化を伝え、訪問国の文化を学び日常生活を体験する。訪問先の人々と相互理解を深め、国際感覚を養い親睦と協調の精神を培う、それが YCE(ユースキャンプ及び交換プログラム)の目的です。



## 高岡アラートライオンズクラブさんより 災害時用の大鍋をいただきました

今治東ライオンズクラブ 幹事  
阿部 国弘

このたび、わが今治東ライオンズクラブに、富山県の高岡アラートライオンズクラブさんから、災害時に炊き出しなどで使える大型鍋を進呈していただきました。

高岡アラートライオンズクラブさんは名前のとおり、災害支援に特化したクラブで「アラート」の名を冠した初めてのライオンズクラブだそうです。さきの熊本地震や今回の西日本豪雨災害の際、食料品や飲料水の支援物資の提供や炊き出しなどを献身的に奉仕されています。

また、結成当初からカンボジアの小学生へ文具の支援や、シリアの難民キャンプに小学校建設の支援をおこなっているそうです。メンバーは42名、事務所や事務職員を持たず、月々の会費を抑えて、だれでも参加できるライオンズクラブを目指して日々の奉仕活動に励んでられます。

今回、創立5周年事業の一環として、豪雨被害の大きかった、広島県呉市と岡山県の真備町、そして愛媛県のライオンズクラブに大鍋一式を送りたいとの意向で、まず9月の29日にクラブの皆さん5名が今治にお見えになり、災害支援等の意見交換をさせていただきました。

意見交換会では各メンバーから活動内容の報告や大鍋の活用方法について、災害支援だけでなく、地域のイベントや他団体への貸し出しも積極的にこなってほしいとのことでした。話はトントン拍子に進み、和やかな雰囲気の中か散会しました。

贈呈式は11月4日に決定しました。当日は曇一つない晴天で、高岡アラートライオンズクラブの面々10名が今治に來られ、立派な横断幕も準備していただき、厳かにも華やかにおこなわれました。式典では、大鍋の目録贈呈、使用方法の説明、感謝状の贈呈、各メンバーの紹

介などを執りおこないました。そのあと、会場を世界中からサイクリストが集まる来島海峡大橋が目の前に望める「大潮荘」に移して昼食会を開きました。瀬戸内名物の刺身や天ぷらを味わいながら、お互いの地域の名物料理やイベント、お祭りなどの話に花を咲かせました。昼食後、来島大橋の記念館に少し寄り道をし、今治を後にされました。来年の3月16日に高岡市のホテルで5周年の記念式典が開かれるということで、わがクラブからもお礼を込めてぜひ参加したいと、いまから計画を立てているところです。

ちなみにこの大鍋は、「炊くぞーくん」という名前で、メンバーで周年記念実行委員長である苗加さんの会社で製造されました。大きさは直径1メートル、最大1,000リットルの容量があります。満タンで約300人分強の豚汁が作れます。普段は備え付けのプロパンガス用のバーナーを使って煮炊きをおこないますが、非常時には薪でも使えるハイブリッド仕様です。

高岡アラートライオンズクラブのみなさん、本当にありがとうございました。最後に、この記事を見て、ぜひ大鍋を使ってみたいと思われたライオンズクラブのメンバーは、今治東ライオンズクラブの事務局まで連絡をいただけると幸いです。



贈呈式を終えて参加者全員で記念撮影



感謝状を贈呈された高岡アラートクラブ今井会長(右)と今治東ライオンズクラブ 本宮会長



贈られた大鍋と使い方を説明される製作者の苗加ライオン



# 今年のサマーキャンプは エキサイティング

YCE・ライオンズレオ・国際関係委員会  
委員長  
青井 俊夫

…はじめに…

…今期のサマーキャンプはA地区単独開催となり、対象者は6名(トルコ1、メキシコ1、台湾4)全員女性だった。3泊4日、海・川・山でアクティブなサマーキャンプを目指し、自然に恵まれた我々の地域を十分に楽しんでもらう、そんな発想のもと半年かけて計画、下準備を綿密に行った。

## 7月23日(月) 第1日目

### ◆開村式

開村式は14:00より、海水浴場・キャンプ場内の素晴らしいロケーションの中の建物の一室で行われた。関野ガバナールはじめ関係各位の出席のもと、YCE生の自己紹介があり4

日間のスケジュール説明の後、バナールの交換・記念品の贈呈など滞りなく終了。まずは高台にある宿舍となる建物へ案内、ここは全室瀬戸内海が眺望出来る間取りとなっている。夕食はキャンプ場にてバーベキューを楽しんだ。夜は建物内のカラオケルームでくつろいでもらった。

## 7月24日(火) 第2日目

### ◆しまなみ海道サイクリング、潮流体験、大山祇神社参拝

9:00休暇村出発。しまなみ海道入口糸山サイクリングターミナルよりレンタサイクルにて、くるしま海峡大橋を渡る。片道7km、これを往復する予定。予定の時間で皆対岸の大島に到着。そこからは車にて移動、能島水軍の本拠地での潮流体験を楽

しむ。一番流れの激しい時間帯での乗船だったので皆上機嫌だった。40分あまりの乗船を楽しみ、再び車にて2000年の歴史を誇る大山祇神社へ向う。門前の茶店で食事をし、神社を参拝する。静寂と悠久の歴史を感じつつ、社殿にて海神の守り札を各人にプレゼントすべく買った。それぞれ好みの色を選んでいった。少々早めに神社をあとにして帰路につく。自転車を置いてあるターミナルより、さあ後半の走り頑張ろう。あまりの暑さに一人ギブアップ。伴走の車に自転車積み込み、残りはもう対岸の糸山サイクリングターミナルまでリタイヤは出来ません。少々心配だったけど元気に到着。その後近くの展望所にて今自転車で走った雄大な大橋を充分に観て楽しんでもらった。帰っての休暇村での夕食は人気のバイキング、好きなものを選べるので好評です。無事二日目終了。

## 7月25日(水) 第3日目

### ◆大歩危にてラフティング

3日目は過去のサマーキャンプではやったことのないと思われるラフティング。四国の中央、大歩危まで朝9:00に出発。2時間後、大歩危のレストランにて早めの朝食。時間調整のためラピス大歩危にて妖怪屋敷と石の博物館見学。皆楽しんでいった。13時にモンベル大歩危ラフティング専用店舗に到着。諸手続の後、さあ着替えて出発。台湾からの来日生一人だけ怖がって留守番となった。残念。

ラフティングは危険なように見えるけど非常に安全です。浮力のあるウエットスーツの上に頑丈とも云えるライフジャケットを着て、頭にはヘルメット。水に飛び込んでも胸からは水面に出ています。潜ろうにも絶対に浮いています。

熟練したインストラクターのもと、皆ボートから飛び込んで水に慣れ、号令のもと力を合わせてオールを漕ぎ、さあ出発。急流下りは非常にエキサイティング、流れのゆるやかなところはボートの縁に全員立ってボートを回転させ誰が一番早く落下するか、あるいはボートをひっくり返して岩に立てかけ滑り台にして遊ぶとか、いろいろ楽しませてくれます。最後の一番の大きい瀬もその頃には皆もう余裕で乗り越えて到着。あつという間の2時間でした。皆の目が輝いていたのが印象的でした。



YCE サマーキャンプ参加者

- DUYGU GENC (トルコ)
- ARANTXA AZUL MEDINA (メキシコ)
- CHEN PEI-CHEN (台湾)
- HUANG YUEH-CHENG (台湾)
- JUI-CHEN FU (台湾)
- KU-CHIEN (台湾)

今回のサマーキャンプは天候にも恵まれ、思い描いていた通りの素晴らしい三泊四日のキャンプだった。協力していただいたメンバーの皆さん本当にご苦労様でした。有難うございました。

…おわりに…

予定時間に休暇村へ帰り着き、休憩後閉村式にのぞんだ。閉村式では大山祇神社で選んでもらった守り札と石鎚山頂でしか手に入れることのない守り札をワンセットにして6名全員に手渡しました。海の神、山の神が彼らの今後の人生を見守ってくれることでしょう。

7月26日(木) 第4日目  
◆横峰寺、遍路道清掃  
プロジェクトS、閉村式

今日は閉村式のある14時30分までに山へ行きます。目的地は60番札所横峰寺、八十八ヶ所で三大難所標高750mの山の上にあります。この住職は我々キャビネットメンバーです。狭い林道を車で上がり本堂近くまで特別に乗り入れさせてもらいました。大広間で持参した弁当を頂いて一休み。

ここで皆に遍路の白衣を羽織ってもらい、そして火バサミとナイロン袋を配布。さあこれから本日のメインテーマ遍路道清掃プロジェクトSのはじまりです。まずは500m離れた奥の院「星が森」へ、ここからの石鎚山はすばらしい眺めです。途中、トルコのゲンちゃんが「この雰囲気はすばらしい、大好きです」と大喜びだった。石鎚山遥拝の後、山門まで戻りここから遍路道をゴミ拾いしながら一気に登山口まで下ります。早い3名と遅れ気味の3名に分かれたけど全員無事40分あまりで登山口に到着。流れ出る山のおいしい水で顔を潤し、清掃奉仕プロジェクトSは終了しました。迎えるの車に乗り込み

# サマーキャンプ来日感想

●傅瑞珍 FU, JUI-CHEN 台湾  
 徳島吉野川ライオンズクラブ  
 松茂徳島空港ライオンズクラブ



今回のYCEキャンプ日程について全く何も知らされていなかった為水着などの準備はしてなかったけれども、凄く楽しくて忘れられない思い出が出来ました。一番印象に残っているのは自転車に乗る事とラフティングです。受験勉強が忙しい私にはとても貴重な時間でした。カンカン照りの日に12キロの距離、正直楽ではなかった。行きは下り坂で、その反面帰りは登り坂ばかりでした。でも途中の景色がすごく綺麗で、自転車に乗りながら景色を見て疲れも飛んで行きました。その後無事に現地に戻って達成感が溢れて、体がしんどかったけれども、気持ちは大満足でした。流れた汗は一番いい記念ではないでしょうか。ラフティングは初経験でした。最初は危ない運動だと思いましたが、実際にやるとすごく涼しくて夏にピッタリのスポーツと感じました。ガイドさんも面白くてとてもいい経験でした。もちろん今回のcampの活動は全部好きでした。一時間があっても言い切れないくらい楽しかった。お世話になった方々にも心より感謝しています。皆様の親切な気持ちとおもてなしの心に感動しています。お世話になりました、ありがとうございます。

●黄珮瑛 HUANG, YUEH-CHENG 台湾  
 丸亀ライオンズクラブ

今回のキャンプ活動はすごく意外でした。日本に来る前に活動内容は全く知らなかった為。7月23日開村式でした。丸亀から東予に着くのが午後の1時くらいでした。良い雰囲気の中で自己紹介終わってキャンプが始まりました！  
 最初の日には自転車で今治市の来島大橋を渡って大島まで行きました。青い空そして青い海とても綺麗でした。その日の午後神社にも行って、御守りも買っていたかったです。「神様！私のこと守って下さいね！」と思いました！  
 徳島に行った日はお化け屋敷と石の博物館にも行って、専門知識を身につけることも出来ました。でも一番楽しみにしていたのはラフティングでした。楽しくても良い思い出が出来ました。今回は東予YCE summer campに参加する事が出来とても光栄です。国内国外の友達も出来て、色んな話題を交流してとても新鮮な感じでした。YCEの方々も優しくて4日間も守っていただけてありがとうございます。機会があれば是非もう一度こんな活動に参加したいです。



●陳佩臻 CHEN, PEI-CHEN 台湾  
 東予ライオンズクラブ

初日に同じく台湾のYCEメンバーに会えてすごく楽しかった。なぜですかと聞くと、私は日本に来て何日も中国語を喋ってないからです。キャンプの最初は皆で焼肉を食べてその後カラオケに行っていて、驚いたのは、中国語の曲もあって、楽しくていっぱい歌いました。夜に温泉にも行きましたが、最初恥ずかしかったけれども、慣れるとすごく気持ち良かったです。  
 次の日皆で今治に行って、自転車に乗って来島海峡大橋を渡りました。船に乗って渦潮も見て特別な体験でした。その後神社にも行って、ホテルに帰って、晩ごはんの後にDAISOにも買い物に出掛けました。そして徳島にも行きました。徳島でのラフティングは少し怖かったですが、でも本当に楽しかったです。今回のcamp活動とても良く楽しかったです。色んな体験をしていい思い出もいっぱい出来ました。日本のYCEの方々、素敵なサマーキャンプ活動に参加させてください。心より感謝しています。ありがとうございます。



●顧倩 KU, CHIEH 台湾  
 徳島吉野川ライオンズクラブ  
 松茂徳島空港ライオンズクラブ

今回のcampでたくさんの方々に出会うことが出来て、私はとても幸運な人だと思います。最初は不安だらけでしたが、慣れないとか、友達ができなとか、色々考えていました。でも日本のYCEの方々から始め、台湾の友達、メキシコの友達、トルコの友達、みんなすごく面白くて優しい方ばかりでした。内気の私には最初恥ずかしくて、あまりみんなとお喋りしなかった分がとても損をした気分でした。

一番楽しかった事はみんなと一緒に自転車に乗る事と、一緒に食事をする事でした。YCEの方々には本当に可愛くて面白かったです。皆さんのお陰ですごく温かいキャンプが出来ました。4日間しかないキャンプでしたが皆さんのことをきくと忘れられない、私の家族のように思っています。

今回のキャンプは、私にとって体力的にすごくしんどかったですけれども、気分的には最高でした。YCEそしてYCEの方々、たくさん友達、通訳の先生方、ありがとうございます。皆さんの幸せと平安を祈っています。L  
 uちゃんは永遠に皆さんの家族です。機会があれば是非台湾まで会いに来てくださいな。



●DUYGU, GENG トルコ  
 西条ライオンズクラブ



サマーキャンプを私達の為に開催してくれてありがとうございます。私は自転車に乗れないので1日目の「しまなみサイクリング」には参加できませんでした。それでもメンバーさんの車で渡ることができて、他の参加者のすがすがしいサイクリング姿を見て、見るだけでもリフレッシュできました。来島大橋の構造にも魅了され、感動しました。大山祇神社そして樹齢2000年以上の楠にも歴史と文化を感じることができました。

2日目の徳島での「ラフティング体験」は想像以上に面白かったです。人生で一番エキサイティングな体験と言っても過言ではありません。日本でこんな体験ができて本当嬉しかったです。3日目は山でハイキングを体験しました。山の美しさと静けさに癒されて、穏やかな気持ちになりました。1時間半も山を歩きましたが貴重な体験でした。

海、川、山での体験を通して四国の自然を満喫することができました。このキャンプではたくさん思い出し出ができました。そしてありがたいことにたくさんいい人に出会うこともできました。  
 こんなにたくさんの方々の貴重な体験をさせていただいて、準備、移動、心遣いなどたくさんお世話をしていただいたLionsのメンバーさんに感謝しています。みんなの優しさには感謝をしてもきれません。この体験を生かしてこれからも頑張っていきたいと思っています。

●ARANTXA, AZUL MEDINA ACEVEDO  
 高知桜ライオンズクラブ

サマーキャンプは盛りだくさんでも楽しかったです。短い期間でしたが日本語として日本についてたくさん学ぶことができました。キャンプでの体験は本当に素晴らしく、どの活動も貴重で楽しく、常にいい時間でした。思い出に残る4日間になりました。

ライオンズクラブは大好きです。メキシコに帰ったら、自分のレオクラブを自分の周りを、そして世界をよりよい環境にできますように「チェンジ」の為に色々なことに「トライ」したいと思っています。  
 たくさんの方々の温かいおもてなしを本当にありがとうございます。Azul♡  
 全てに感謝をしています。

# 第9回 鳴門ワークショップを終えて

鳴門ライオンズクラブ  
会長 濱田 雅善

今年もライオンズクエスト「ライフスキル教育プログラム」鳴門ワークショップを開催することができました。今年で9回目の開催となります。

今までお手伝いばかりで受講するのは初めての経験で、前日は緊張してなかなか眠れませんでした。しかし、認定講師の柴先生のパワフルな授業にいつのまにか、引き込まれて、楽しく2日間参加することが出来ました。参加者とのグループ活動を通じて、「一つの課題に取り組み」「自分の思いや考えを伝える」「人の話を真剣に聴く」など、プログラムは教員だけでなく、家庭でも仕事でも使えると感じました。今回の経験で自分の中の引き出しも増えたような気がします。昨年受講いただいた幼保連携型認定こども園の先生が園に持ち帰り、大変良かったということ。今回、園長と主任先生に受講いただき、大変良かったです。受講後、ぜひ、園で職員を対象にワークショップを開催したいと強い要望がありました。教育大学の受講いただいた先生からもセミナー開催の要望があります。「継続は力なり」歴代の会長が中心となって10年間、ライオンズクエストに携わってききましたが、ワークショップを続けてよかったとつくづく思いました。確かに、参加者募集には苦労がありますがメンバーが協力して一つのことに取り組む「ウイサーブ」の精神で乗り越えられました。来年の1月26日・2月2日にはスプリット形式の園内型ワークショップを開催します。又、初めて単独クラブで全国フォーラムを開催しました富山昭和ライオンズクラブとライオンズクエストつながりで姉妹締結を結ぶ運びとなりました。先駆者の実践事例を参考にさせていただいてより

## LCIFとライオンズクエスト

MC・ライオンズ情報・地区誌  
大会委員会2R委員 鈴木 恵眞

LCI(ライオンズクラブ国際協会)が誕生して100年が経ち、LCIF(ライオンズクラブ国際財団)が設立されてから今年で50年が経ちました。LCIFと聞けば、MJF、献金とか寄付金という言葉が浮かびますが、そのお金が何に使われているのか、思いつくとしたら大災害援助交付金とか緊急援助交付金でしょう。他に一般援助や国際援助交付金、四大交付金に使われています。

四大交付金の四大とは、視力保護・障害者保護・健康促進・青少年奉仕の4分野になります。

4分野の中の1つ青少年奉仕の事をライオンズクエストと呼び、青少年を完全育成するためにLCIが他社と共同開発した教育支援プログラムをライオンズクエスト・プログラムと呼んで、其の全ての権利をLCIFが所有しプログラムを運用する事業には、交付金が\$100,000を上限として交付されます。

ライオンズクエスト・プログラムの日本語版には、小学生低学年用と小学生高学年・中学生用が用意されていましたが、昨年度より幼稚園・保育園が導入されました。

先日、7月14日336A2R3Z川之江LCIが開催したライオンズクエストワークショップは、柴咲子ライオンズクエスト認定講師指導の下、導入間もない幼稚園・保育園用プログラムを使って行われました。参加者は幼稚園に勤務する28名の先生方です。朝から昼食を挟んで夕方まで、長時間でしたが最後まで笑顔いっぱい、楽しい有意義な時間があったという間に過ぎて行ったのが伝わってきました。講演と違って実際に模擬授業をしてみることで、具体的に聞いただけでは分から

ワークショップに取り組む皆さん



一層、活動の幅を広げたいと思います。又、今まで受講いただいた先生方に集まってもらい、課題を共有し、子どもたちへの実践に繋がりたいと思います。  
私たち鳴門ライオンズクラブは、未来ある子どもたちのために、これからもライオンズクエストライフスキル教育の普及活動を進めてまいります。  
最後になりましたが、開催にご協力頂きました教育関係の皆様を始め、関係者の皆様深く感謝致します。



野間委員長の挨拶

模擬授業の様子

最後に参加者全員で記念撮影

ない、方法や表現の仕方を知ることが出来た、保育の現場で使えると高評価です。保育以外の生活の中でも活用できる内容だったという言葉も聞くことが出来ました。因みに今回の幼稚園型ワークショップ開催は、336A地区初となります。  
ライオンズクエストワークショップに関して、青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員会が主催し各地で開催したメンバー向けワークショップセミナーに参加し実際にプログラムの良さがわかる筈。教材費と諸々の諸経費は、LCIFの交付金が使えます。多くの先生方に体験して貰える様、各クラブで考えていただきたいですね。

## 緑ヶ丘幼稚園 7月14日開催 ワークショップ報告

川之江ライオンズクラブ  
教育市民委員長 進藤 裕介

ライオンズクエストってロールプレイングゲームのライオンズ版？というくらい認識しなかったときに、青少年教育のプログラムだということを知りかじったばかりでしたが、ライオンズクエストに幼稚園版が出来たらいいと聞いて面白そうだと直感的に感じたので、丁度幼稚園のPTA会長をしたこともあり幼稚園にプレゼンをしに行ったのが昨年の秋頃だったような記憶があります。

諸々の準備を経て、ついに幼稚園版の四国での初開催にこぎつけることが出来ました。ついで、セミナーを体験していたもの、二日ぶつ通しのワークショップを体験し、こんなスキルをもった先生方から幼少の頃から教育を受けることが出来て居たらもっと精神的に豊かな大人になれたのかもしれないと本気で思える内容でした。

今後、緑ヶ丘幼稚園にライオンズクエストプログラムをどのように導入されていくのか、四国中央市において教育機関にライオンズクエストプログラムが導入されていくのか、その一助に川之江ライオンズクラブがどのようになるのかは現段階では不明確ですが、やれることがあれば関わって行けたらと考えて居ます。

10月のフォーアアップセミナーも無事に終了する事が出来ました。今後もライオンズクエストの普及に努めたいと思います。



参加者の皆さん 記念撮影

### 多度津55周年を迎えて、 更に未来へ

会長 西山 修

8月26日55周年式典が皆様方の協力で無事開催することができました。今年のスローガンは「多度津を愛し、目を外に向けよう」ですが、メインアクティビティとして元外務省事務次官の数中三十二氏の講演会で「緊迫する国際情勢と日本の外交」についてわかりやすく説明してもらいました。さ

て元家老屋敷林求馬邸内に休憩所を設置しますが、少しでも多度津を理解して頂く一助になればと考えています。又町内4カ所の小学校にイングリッシュ文庫を贈呈、スポーツ少年団員交流会に支援を考えています。更町民の健康増進を目的にスポーツ体操を考案し、ヘルスプロモーションを実施します。北前船で繁栄した時は内外から情報が集まり、その刺激の中で栄えましたが、今は何をすべきか、多度津ライオンズクラブが小さなお手伝いできればいいなと考えています。



長尾ライオンズクラブは、1964年4月に高松玉藻ライオンズクラブのスポンサーにより結成され、以来皆様方のご指導、ご支援のもと55周年の節目を迎えることができました。11月3日、香川県三木町の「トRESTA白山」において、長尾ライオンズクラブ結成55周年記念式典を開催しました。香川県より浜田恵造知事（代理 安松延朗審議監）、さぬき市から大山茂樹市長等のご来賓、また地区ガバナリーの代理、近藤晴雄副幹事・キャビネット事務局長様をはじめ、石川俊夫元地区ガバナリー、地区役員、姉妹クラブのマレーシア国、ジョージタウンライオンズクラブや多くの友好クラブ、プラザークラブの皆様にご臨席賜り、厳粛かつ盛大に執り行うことができました。これひとえにご臨席の皆様のご協力と会員一同が一致団結して取り組んだ賜物と深く感謝



し、大変喜んでおります。55周年記念事業は下記の通り記念事業委員長国方弘より発表されました。  
①さぬき・東かがわ地区中学校新人体育大会 優勝旗贈呈（4競技×4旗）  
②ミヤンマー国ヤマ村小学校建設支援  
③LCIF(MJF) 献金：8000ドル  
④交通安全キャンペーン&交通安全のぼり贈呈  
⑤55周年記念植樹…いろはモミジ  
姉妹クラブのマレーシア国ジョージタウンライオンズクラブとの合同アクティビティ会員の高齢化、減少という大きな課題がありますが、この55周年の節目に決意を新たにライオンズの高揚に一層精進してまいります。奉仕の力、団結の力、行動の力を発揮して、次のステップへと前進していきたいと思っております。

### 結成55周年記念式典 長尾ライオンズクラブ

会長 松本正美  
実行委員長 松原典士

### 結成40周年記念式典について 直島ライオンズクラブ

会長 宮本秋雄

直島ライオンズクラブは10月28日、晴天のさわやかな秋空のもと、結成40周年記念式典は皆様方のご協力により盛会裏に無時終了いたしました。「瀬戸内国際芸術祭で地域に活力を!!」来年4月開催予定を先取りし、ベネッセハウスで行いました。

我がクラブは、昭和53年創立以来、メンバー数的にも少なく、また離島というハンディがあるため、プラザークラブの皆様には多大なご迷惑をおかけすると共に、ご尽力を頂いてきた40年ではなかったかと思えます。ライオンズクラブの使命は地域社会への貢献であります。これからも地域のニーズにしっかりと耳を傾けていきたいと思

います。最後に、私ども直島ライオンズクラブに対して、今後なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますと共に、瀬戸内国際芸術祭の直島にもお出かけ下さい。



### 結成45周年のテーマ 「高知中央ライオンズクラブらしさ」

会長 和田信介

おかげさまで、高知中央ライオンズクラブは結成45周年を迎えることが出来ました。登録ならびに参加していただきました皆様にご心よりお礼を申し上げます。式典が無事に終わった時にあらためて、式典部会、祝宴部会、記念事業、記念誌、交流部会等すべての委員会と部会が、一致協力して準備を進めたという事で、当クラブのチームワークの良さ、結束の強さを実感いたしました。45周年の記念のアクトを何にするかという事を、皆で検討した結果、当クラブの方針である「青少年に愛と希望を」に合致するという事で、今年オープンした高知みらい科学館へのロボット寄贈が決まりました。A1を搭載したロボットの先進技術を勉強し、また、ロボットと子供たちの触れ合いの中で、人と人との付き合いも考えるようになって、思いやりのある温かい

人間になつてもらえたらいいなと思っております。その他、小学校へのヘリサイン設置やミニバスケットボール大会の実施、少年少女育成剣道大会の実施などを記念事業として行いました。当クラブは、例会には上着とネクタイの着用が義務付けられています。夏場などはクルビズで良いのではという意見が上がりましたが、審議したところもありました。賛否両論ありましたが続けて行こうという意見が多く現在にいたっています。何となく窮屈だとか、面倒に思っていたことが心地よく思える様になっているのも不思議ですが、今後とも先輩たちより受け継がれてきた高知中央ライオンズクラブの伝統と格式を大切に守って行きたいと思っております。また、時代によつて形は変わるかもしれませんが、後輩たちにもこの伝統を引き継いでいってほしいと思っています。



### 新居浜別子ライオンズクラブ 結成30周年記念式典

会長 川上博司

11月30日グラツェフェジにおいて、石川勝行市長をはじめとするご来賓の皆様方や多くのライオンズクラブ関係の方々のご臨席の下、結成30周年記念式典を開催できましたことは会員一同この上ない喜びであり心より厚くお礼申し上げます。

私共のクラブは1989年2月新居浜中央ライオンズクラブのスポンサーにより誕生して以来、地域に根ざした社会奉仕活動が続けて参りましたが、今回我々はこの記念の年のテーマを「視力ファースト」とし、それに基づいて9月16日にメイン記念事業として盲目の女子高生シンガーソングライター「佐藤ひらりチャリティーコンサート」を開催し、そ



記念式典開会



参加いただいた皆様



新居浜市長にもご参加いただきました

こで得た収益金を全て愛媛アイバンクへ寄付させていただきました。また、目の不自由な方にスポーツを楽しんでもいただく為のサウンドテーブルテニス卓球台を新居浜市に寄贈し、当日の祝宴で石川市長にも体験していただきました。その他、メガ

ネリサイクル事業も継続中ですが、これら全ての記念事業を会員全員が一致団結して取り組んだ経験を当クラブの新しい未来への第一歩として地元へ愛されるクラブとして40周年、50周年へと向け益々精進して参りますので、皆様方より一層のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 奉仕する仲間を増やそう 数は力なり

高松東ライオンズクラブ

会長 細井 香

今期の会長方針は献眼・献腎・難聴児支援・貧困家庭の支援です。特に献眼については当クラブ40年前より活動しているにもかかわらずメンバーとしては誰一人提供していません。幸い小生の母(10年前)、妻(2年前)に提供しましたところ感動する喜びの声を聞かせて頂きました。

静岡県小山ライオンズクラブのご指導を頂き今期必ず流れを作るとの決意で運動を進めています。提供まで進めるのは家族の同意が一番です。正会員にこだわらず賛助会員、特に家族会員を重点にお誘いしています。年度始め会員数72名でスター

トしました。第一例会に関野邦夫地区ガバナーのご出席を頂き10名の入会式を行いました。その後2名の退会(逝去)がありました。10月例会には6名が入会します。目標は100名達成 期日12月25日クリスマス家族会までに必ずやる。会場は当、メンバーの喜代美山荘花樹海で7月に予約済です。やれば出来る何事も。必ず達成します。ご支援下さい。

### 会員増強についての 思いと取り組み

東予ライオンズクラブ

会長 田邊重義

今期私共クラブは、9月末の時点で8名の会員増となりました。とは申しまして、家族会委員が殆どであります。今期私共のク

### 皆様のご協力に 感謝致します!!

GMT・GLT・FWT・会則委員会  
委員長 松本 清

ブから地区ガバナーを輩出しており、その思いに込めるべく一致団結して取り組んでおります。その中でもやはり会員増強は大変大きな課題であると考えます。そこで私は、女性会員の増強ということも含め家族会員から増強していくことを考えました。まず三役が率先をし、奥様に入会をしていただき、理事会、例会でお願いをし、その上個人的にもお願いをいたしました。思いを感じ取っていただき、8名の増員をすることができました。しかしながら、今期は、各地で大変な災害が発生し、その支援で、会員の皆様にも大変な負担を掛けておりまだまだ計画通りとは行かない状況であります。しかし、正会員の増強も含め、最後まで積極的に、また、様々な工夫を展開し、最後まで会員の増強に力を入れていきたいと思っています。その為には、その時々状況判断を誤らず、的確に、気を緩めず、「熱い思いを最後まで」の気持ちで会員全員と共有して参りたいと思っております。

先日、四国9地域のガバナー公式訪問が終わりました。3リジョンでは、2回延期になり、3回目も台風を心配しながらでしたが、何とか実施する事が出来ました。先日の豪雨で大勢の方が亡くなられたり、被災をされたりと大変でしたが、お悔やみを申し上げますと共に、早く立ち直られる事を切望する限りです。

3リジョンの会員の皆様に於かれましては、他リジョンにお願いしている新入会員の事等は勿論考えなくて結構です。ただ、ガバナーの方で、諸々の方策などを検討・実施していただきますので、退会だけは考えないで頂きたいと思えます。どうぞ、よろしくお願い致します。

話は変わりますが、ライオンズクラブの新年度が7月1日から始

まり7月31日の段階で、我々の336・A地区が、会員数の純増数が、日本一で、新入会員数で、日本で二位になりましたが、その後、やむを得ず退会の方とか、亡くなられる方も居られたりして、伸び悩んでいます。

特に2リジョンの方には、ガバナーの地元という事で、会員お一人様に付き、新入会員1名のご紹介をお願いしていますが、こちらも順調ではありません。

新入会員の紹介は、自分の所属クラブへの入会で無くても、他クラブへの紹介でも構いません。その時には、必ず『何クラブの誰が、何クラブへ誰を紹介した』というのを、キャビネット事務局へ連絡をお願い致します。パソコンのサバンナには入会クラブの方に表示されますが、会員数の表彰カウントには、間違いなく加算致します。

ただ、この、新入会員紹介は、ただ単に会員増の為だけで無く、本来、ライオンズマンは『ボランティアを行う善良なる一般市民』であるべき我々であって、その紹介は、し

ばしば見受けられる「善良な一般市民を装った、善良で無い一般市民」では無く『少なくとも標準以上の善良さを持つ一般市民』の仲間を増やす。そして『お互いに律して、より一掃の研鑽を目指す』その為の活動であると私は考えています。そうすれば、その活動は、膨らみを増し、ひいては地域の振興にまで繋がりがかねない事柄だと考えます。

そして、また、素晴らしいアク

トや楽しい例会など、クラブによって様々な形があります。地域の特性とか、メンバーの特技などを大いに生かして前向きに考えて頂けたら、なお幸いです。

上記日本一・日本で二位に対し、我々の336・A地区をターゲットに頑張ってきている地区も現に有ります。(油断は出来ません)来年の6月30日の年度末には『四国中でみんな頑張つて良かったね!』と言える様にするには、皆さんの、あと一歩のご協力が必要です。それも、今からの3ヶ月がポイントです。

どうぞ宜しくお願い致します。



# 第31回国際平和ポスターコンテスト 最優秀賞など16点を選出

MC・ライオンズ情報地区誌・大会参加  
委員長 福山 宏

今年度で第31回となります。国際平和ポスターコンテストの審査会が11月23日、西条市立壬生川小学校体育館で開催されました。私も審査委員の一人として参加させていただきました。「思いやりは大切なこと」をテーマに336・A地区の児童や生徒から応募総数作品が5227点ありそこから更に各クラブから選定された応募作品162点が寄せられました。体育館の床一面に並べられた162点の作品、この膨大な作品数から最優秀賞など16点の作品に選定しなければなりません。子供達の感性で一生懸命に描いた作品ですから皆、真剣な面持ちで体育館に集合しました。

午後2時頃より村井淳子 青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト副委員長より開会の言葉をいただき続けて出席者の紹介を高橋学キャビネット副幹事が行いました。青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員の皆様もご多忙の中遠方より駆けつけていただいております。

絵の専門家の方々にゲスト審査員として御参加いただいております(彫刻家、書家、日展会友、日彫会会員、元教師)近藤哲夫様を審査委員長に、(日展会友光風会会員、県美術会員、中学校教諭)山本英夫様、(中学校教諭)今井一子様のご協力をいただきました。

関野邦夫ガバナーの挨拶より審査会が始まりました。続いて野間典子 青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員長より審査方法の説明を受けます。審査基準としては独創性・芸術性・テーマの表現力を考慮する。です。

平和ポスターの参加資格は11月15日現在で11~13歳の生徒(小5の一部~中2の一部)となります。やはり絵の上手さという意味では高学年の方が有利になりますが、私は審査員の一人としてなるべく公平な目で作品を観させていただくように努力いたしました。子供達が夏休みに一生懸命に描いた物です。いい加減な事は出来ません。



**最優秀賞** 宮本 弥怜 愛媛大学教育学部附属中学校1年 松山白鷺(1R3Z)

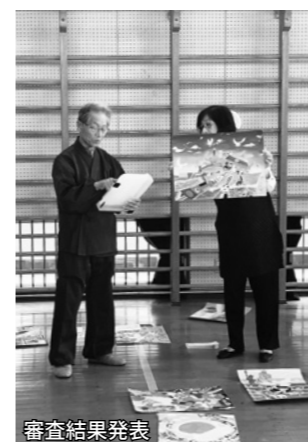
各リジョン毎に縦に並べられた162点の作品から横一列毎に全員で気に入った作品を抜き取っていきます。正直、レベルが高くどれもこれも良く見えてしまいます。これは良いと私が手に取った作品に文字が入っていたりで惜しいなと思った物もありました。しかし「文字・数字入りは無効」となっておりません。皆、一点一点に目を凝らして真剣に選定して、まずは37点の作品に絞り込まれました。選ばれた作品はどれも素晴らしい、ここから更に16点に絞り込むのは大変でした。ゲスト審査員の確かな力をお借りして最優秀賞地区ガバナー賞審査委員長賞地区キャビネット会計賞青少年・GST・LCIF・ライオンズクエスト委員長賞MC・ライオンズ情報地区誌・大会参加委員長賞優秀賞10点それぞれの賞を選ぶ事ができました。



ガバナー挨拶  
体育館にて



体育館の床いっぱい並べられた作品から選定中



審査結果発表



ご協力いただいた  
ゲスト審査員の皆さん

### MC・ライオンズ情報 地区誌・大会参加委員長賞



矢口 楓花  
香川誠陵中学校1年  
高松葵(4R1Z)

### 青少年・GST・LCIF・ ライオンズクエスト委員長賞



森田 彩由  
三木町立三木中学校1年  
三木さぬき(4R3Z)

### 地区キャビネット会計賞



森本 晴菜  
高知市立愛宕中学校1年  
高知北(6R1Z)

### 審査委員長賞



山下 慈由  
多度津町立四箇小学校6年  
多度津(5R2Z)

### 地区ガバナー賞



大森 亜実  
まんのう町立満濃中学校1年  
こんびら(5R2Z)

### 優秀賞

高岡 仁輝	松山市立和気小学校6年	松山中央(1R3Z)	臼杵 慶	普通寺市立東中学校1年	普通寺(5R2Z)
眞木 彩愛	今治市立北郷中学校2年	今治(2R2Z)	田村 漣	高知市立横内小学校6年	高知桜(6R1Z)
野崎 龍馬	さぬき市立志度中学校1年	志度(4R3Z)	山本 夏葵	四万十市立東山小学校6年	四万十(6R3Z)
松岡 竜生	香川大学教育学部附属坂出中学校1年	坂出(5R1Z)	今井 愛莉	藍住町立藍住西小学校6年	藍住(9R1Z)
石 佳鑫	坂出市立東部小学校6年	坂出シニア(5R1Z)	十河 日向子	北島町立北島中学校1年	北島(9R1Z)





# 林芙美子常設展示場

キャビネット幹事  
佐藤公平



師走になり、本格的な冬到来とい  
う12月6日の夜、本稿を一気に書き  
上げました。

キャビネットの準備のときからラ  
イオンズクラブの事が占拠して  
いますので、M.C.ライオンズ情報・  
地区誌・大会参加委員会からの「林  
芙美子さんについて、なにか書いて  
欲しい」という依頼は大変嬉しく、  
気軽に引き受けてしまったのです。  
道前キャビネット事務局は、私ども  
医療法人弘仁会通所介護センター  
まほろば3階の一部屋で運営して  
いますが、その2階の会議室、定例  
内局会会場の周辺には「林芙美子  
常設展示場」として一般見学を開放  
している施設があります。それを開  
設したことを懐かしみながら認めま  
した。

ライオンズクラブメンバーの多く  
は、恐らくはご存知でしょう。林芙  
美子は昭和の三大女流作家として数  
えられる小説家です。その生涯を紐

解くにはとても紙面が足りません  
が、簡単に紹介するならば、戦時を  
駆け抜けた作家だということが出来  
ます。

明治36年末は北九州門司（下関  
という説もある）の生まれ、幼少期  
を九州で過ごし、小学校5年生から  
女学校卒業まで尾道に住み、卒業直  
後の大正11年春に上京しました。翌  
年9月1日、関東大震災に被災し  
ながらも雄々しく生き抜き、昭和初  
頭には詩人として少しは知られるよ  
うになっています。没年は昭和26年。  
処女刊行作は昭和3年の詩集『蒼  
馬を見たり』でしたが、昭和5年、  
改造社から出版された『放浪記』『続  
放浪記』で世に羽ばたくことになり  
ます。その『放浪記』『続放浪記』  
や翌、昭和6年秋から半年ばかり渡  
欧した経験を生かした『巴里の日記』  
などには、多くの詩が挿入されてお  
り、詩壇では詩人として一定の評価  
を受けているようです。

大正13年ではないかと疑問をもった  
からでした。まあ、普通どうでもい  
いことなんでしょうけれども、その  
成果を小著『林芙美子・実父への手  
紙』という書籍に纏めていますので、  
興味のある方にはお貸しします。

林芙美子が渡欧したのは満州事変  
勃発の年で、帰国したのは「五・一  
五事件」が発生した一ヶ月のちです。  
満州事変は、中国東北部における、  
日本の関東軍の軍事行動に端を発す  
る国家間紛争ですから、その行動力  
には本当に驚かされます。どうして  
そんな時期にパリへ行ったのか。そ  
んな疑問をお持ちの方は今川英子氏  
編『林芙美子巴里の恋』を是非お  
読み下さい。当然これも手元にあり、  
いつでもお貸しできます。

その時期の林芙美子は多作でし  
た。そして、その時期の本は大変紙  
質が良かった。戦争の色が濃くない  
からだと思えます。昭和8年『清貧  
の書』、昭和9年『厨女雑記』あた  
りはなかなか立派でシンプルで好き  
な装丁です。これらは日記体や自叙  
的な作品でした。林芙美子は「中央  
公論」に昭和10年発表した『牡蠣』

から客観小説に脱皮したといわれて  
います。この『牡蠣』、出版記念会  
を自分で開いて、どじょうすくい  
をやったとか、研究史上いろいろな逸  
話が紹介されていますが、同年5月  
にはP.C.L.T.キー「放浪記」が夏  
川静枝主演で映画化されており、こ  
のころから戦地に向くまでが良い  
時期だったかも知れません。  
さて、昭和12年は日華事変、夏の  
南京占領に際して大虐殺事件があり  
ました。その事実性について今でも  
議論があります。それは兎も角、昭  
和10年創立の「日本ペンクラブ」は  
国家総動員法が公布された13年に国  
際ペンクラブから脱退、その年、菊  
池寛を隊長とする「ペン部隊」が編  
成され、銃後運動が展開されるよう  
になり、林芙美子はその先陣を切っ  
て漢口に一番乗りしています。戦時  
中にも多くの著作を残しています  
が、確か3度の従軍があり、それは  
14年の『北岸部隊』、16年の『戦線』  
などに結実しています。

その昭和16年には新居を構えまし  
た。新宿区中井、見事な数寄屋造  
りのその家は、夫・緑敏氏の没後に

その、林芙美子の常設展示場が何  
故西条市にあるのか。実は、実父・  
宮田麻太郎が生まれたのが現在の西  
条市新市なのです。敢えて実父とい  
うのには訳があり、そのあたりはこ  
こでは省きましょう。どこかで酔っ  
た私を捕まえて質問を投げてください  
い。で、その宮田麻太郎、『放浪記』

のなかでは好ましくない人物像で描  
かれているため、かつて当地勇志が  
顕彰しようと署名を集めたけれども  
実現しなかったという経緯がありま  
す。その後、地元の歴史家・竹本千  
万吉氏による『人間・林芙美子』と  
いう研究書により名誉挽回、20年足  
らず前に私たちが主宰する「アトリ  
エしまなみ」というまちづくり団体  
で林芙美子の演劇を行い、その後林  
芙美子展を毎年文化祭で継続したこ  
とで、徐々に地域の認知があがった  
と自負しています。JR壬生川駅前  
には大正末期の年末に林芙美子が実  
父・宮田麻太郎に宛てた手紙全文が  
当時の東予市により紹介されてお  
り、女学校のとき父方祖父の葬儀に  
忌引きで訪れた際に遊んだとされる  
吉岡小学校校庭や宮田麻太郎旧家

新宿区が買い取り、いまは林芙美子  
記念館になっています。寄贈された  
遺品は新宿区歴史博物館に所蔵され  
公開されており、わたしも林芙美子  
遺品、大島紬の着物を姪の林福江  
さんから頂きました。森光子の放浪  
記舞台の記念品と共に寄贈を受け、  
林芙美子生誕100周年の際に作成  
された多くの資料と共に、毎年、西  
条市文化祭「林芙美子展」で展示  
してきました。縁の品としてはその  
他、下駄・名刺・原稿用紙・草稿  
などなど。林芙美子常設展示場の自  
慢は、それら林家から寄贈を受けた  
品以外に、私が研究期間にあちこち  
で買い求めた林芙美子著作や研究  
書、一冊一冊に思い出があります。  
林芙美子の著作は文泉堂『林芙美  
子全集』16巻の今川英子年譜に依れ

に「アトリエしまなみ」が標柱を建  
立、その近く、佐志久山では歌碑や  
標柱を見ることが出来、周囲には林  
芙美子が好きだったという紫陽花を  
植えています。

さて、わたしが林芙美子について  
調べ始めたとき、彼女の人文研究史  
にはいくつかの時期で不確かでした。  
生誕から幼少期のころ、上京後の登  
壇前夜、そして昭和6年秋から渡欧  
した時期の事、そして戦地です。生  
誕から幼少の頃は当初『放浪記』な  
どの自叙的作品から手繰られ、伝聞  
や学籍簿の発掘などで纏められてい  
きました。登壇の頃は何人もの詩人  
仲間が筆にし、また語っていますが多  
くは記憶に頼るもので、渡欧のころは  
『巴里の日記』などに記されているも  
のの虚構がみられ裏付けに乏しく、  
戦中の新聞報道などは事実を検証す  
る際の確たる頼りにはなりません。

わたしが研究で取り上げたのは登  
壇前、JR壬生川駅前に掲示されて  
いる実父・宮田麻太郎への書簡には  
封筒がなく、年月日がわからないの  
を、竹本千万吉氏が文面から大正  
14年と読み解いていることに、実は

ば300余、そのうち230以上を  
揃えており、これは林芙美子記念館  
あるいは新宿区歴史博物館、加えて  
国会図書館・日本近代文学館の林  
芙美子蔵書より多いはずですが。紫外  
線を避け、温度管理した本棚で保管  
していますが、お声がけ頂ければ手  
に取ってお読みいただけます。  
道前キャビネット事務局に、お気  
軽にお越しください。



# 複合地区LCIFコーディネーターをお迎えして

LCIF キャンペーンコーディネーター 菅 武廣

9月29日、小雨降る中、愛媛県西条市の西条中央公民館において336・A地区2018-2019年度LCIF研修会が道前キャビネットのお取り計らいで行われました。講師に橋本充好336複合地区LCIFコーディネーターを迎え、また大谷LCIFキャンペーン100副エリアコーディネーターが同席の下、336・A地区からLCIFクラブコーディネーター他、地区役員など多数のライオンズメンバーが集まりました。

7月初旬に中四国を襲った西日本豪雨の災害から、まだ復興の目途がつかない中での研修会となりました。西日本豪雨におきましては、大災害交付金が設定され、LCIFより30万ドルの交付金が決定されました。近年、日本でも阪神淡路大震災、東日本大震災など大きな災害が多く発生しています。

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)への多くの寄付金をしている日本

ですが、また多くの交付金を受けていることも昨今における状況であるといえます。世界各地で災害が起きています。LCIFは災害援助だけが目的ではありません。そこで、LCIFフォワードによる五つの重点課題に国際協会は取り組んでいます。糖尿病・環境・食糧支援・子供のがん・視力の五大目標を掲げてライオンズクラブは国際協会の新たな100年に向けて船出しました。そのために、クラブリーダーの皆様がMJJFを二口以上お願いしております。

区人道支援事業に使用できるというものです。各クラブで事業に使用する場合は、キャビネット、または、コーディネーターにまず相談することを声高に説明されておりました。

LCIF キャンペーン100を成功するべくみなさまのお力をお貸しください。

一人一人の力が大きく発展し、LCIFワンハンドレットが成功することを心よりお願い申し上げます。

多くのライオンズメンバーが熱心に聞き、質疑応答も活発に行われていたことにはとても意義を感じました。慣れない司会進行をさせて頂きました。が、有意義な研修会が開催できたことに大変感銘を受けました。これからも、LCIF100キャンペーンに向けて皆様のご尽力を期待しております。

区人道支援事業に使用できるというものです。各クラブで事業に使用する場合は、キャビネット、または、コーディネーターにまず相談することを声高に説明されておりました。

## 物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます

①氏名・享年 ②所属LC ③入会年月日 ④没年月日



①川田 達司(72歳)  
②9R-1Z 鳴門西  
③2004年7月1日  
④2017年12月28日



①岡 信夫(89歳)  
④2R-2Z 高松東  
③1972年7月25日  
④2018年6月24日



①一柳 雪子(90歳)  
②6R-1Z 高知桜  
③1995年1月1日  
④2018年6月26日



①高橋 勉(81歳)  
②2R-2Z 今治  
③1978年10月3日  
④2018年7月13日



①幾田 敏弘(71歳)  
②6R-3Z 土佐清水  
③1997年8月7日  
④2018年7月22日



①東 博夫(67歳)  
②4R-2Z 高松東  
③1987年2月24日  
④2018年8月13日



①玉井 伸明(57歳)  
②2R-4Z 東予  
③2001年7月  
④2018年8月14日



①川中 志穂里(61歳)  
②1R-1Z 松山東  
③2010年7月  
④2018年8月



①大森 真也(68歳)  
②1R-2Z 伊予  
③1981年10月22日  
④2018年9月10日



①松岡 勲(74歳)  
②6R-3Z 四万十  
③1990年10月1日  
④2018年9月24日



①栗田 義則(86歳)  
②1R-1Z 松山東  
③1980年4月  
④2018年9月29日



①呑口 順治(89歳)  
②8R-1Z 阿波勝浦  
③1977年6月1日  
④2018年10月3日



①篠原 密男(86歳)  
②4R-3Z 三木さぬき  
③1989年10月19日  
④2018年10月10日



①高岡 稠(89歳)  
②1R-1Z 松山城東  
③2007年4月1日  
④2018年10月29日



①東野 信浄(80歳)  
②7R-2Z 高知黒潮  
③1979年10月  
④2018年10月31日

## 編集後記

私がこの役職を務めさせていただく事になった時に過去の地区誌に目を通しこれまでの先輩方が作られた構成を自分なりに分析して参考にさせて頂いています。その分析の中である程度構成の決まった一号と二号、それに比べ二号と三号はある程度独自性が必要で良くいえば自由な構成が出来る。それ故に難しいと、悩みながらやっと「四國」第二号を完成させる事ができました。道前キャビネットが立ち上がった直後に豪雨災害があり被災地の方々の支えになるように非常に熱心に行動されたメンバーの皆様の記事、被災された方ならではの体験、是非皆様に読んでいただきたいと思えます。その他にも当委員会の委員の皆様にご苦勞をおかけしましたが地区ガバナリー公式訪問の様子を各リジョン毎に写真と記事をいただいておりそれぞれの受けた感想が面白く思いました。またYCEサマーキャンプは大きくページを取らせていただき子供達の楽しそうな様子をお伝え出来たのではないかとと思えます。会員増強の著しく素晴らしいクラブにはその会員増強

に対する考え方や手法を記事にしていたできました。私自身にも大変参考になる内容でした。

小説家 林美美子さんの「放浪記」といえば女優の森光子さんをおい浮かべる方が多数居られると思います。道前キャビネットのある地域は林美美子さんに所縁のある場所でもあります。副委員長のアイデアでキャビネット幹事が本件に関して造詣が深い為、今号より記事をいただく事になりました。連載化出来る良いなと考えております。

今回もかなりの方々に原稿依頼をさせて頂きましたがご多忙な中、原稿を提出していただき助かりました。皆様の協力があったからこそ地区誌「四國」です。

さて、休む間もなく第三号の事も考え始めなければなりません。四国遍路道清掃「Project S」やアワードの事、それとこれから私共の委員会は地区誌の事以外にも大会参加に関する活動も展開していかなければなりません。これからも暫く忙しい日々が続きますがわずか一年間の事と、この忙しさを楽しんでいきたいと思っております。

MCライオンズ情報・地区誌・大会参加委員長

福山 宏